

No. 1276

21世紀を展望

— 福田首相、東海村視察 —

6月24日、福田首相は日本の原子力開発の拠点、茨城県那珂郡東海村を歴代首相として初めて訪れた。首相は核燃料再処理施設などを見学しながら、「核不拡散と原子力の平和利用は両立する。7月のボンでの先進国首脳会議でも原子力の平和利用推進のため、国際協調を呼びかける。21世紀を展望する政治に自信を持った」と語り、エネルギー政策への積極的な取り組みを約束した。資源の乏しい我が国にとって、原子力エネルギーは欠くことのできないものであるが、平和利用の促進をはかる日本と、核拡散防止を世界的に進めるアメリカとの間で激しい攻防を展開したことは記憶に新しい。石油に代る21世紀の新エネルギーとして期待される原子力、正しい認識のもとに、平和利用を推進してゆきたいものだ。

日本、初戦を飾る

— 第7回日米大学野球 —

第7回日米大学野球世界選手権、日本対米国の第一戦が曇り空の神宮球場に12,000人のファンを集めて行われました。

日本2回の攻撃。期待の大型打者堀場が右中間を深々と破る2塁打。岡田が倒れた後漆畑がフォアボールで出塁、絶好の先取点のチャンスを迎えます。しかし高橋はボードレーの速球にあえなく三振。米国は3回、一死、2塁3塁。1番レイノルズは右翼に犠牲飛球を打ち、米国1点を先行します。続くトルーマンの当りは三塁線の痛烈なゴロ、しかしこれを岡田が妙技でさばき、追加点を阻みます。日本は1点を追う4回ヒットで出た豊田を2塁に置いて、バッター堀場。堀場のしぶい中前安打で同点、漆畑も制球の甘くなったボードレーを捉えて中前安打、堀場を返して2点目、この後高橋が米国バッテリーのはずした球に飛びつきスクイズを決め3点目、一挙に逆転します。米国5回の攻撃、バッターはバレット。バレットは高橋の内角球を左翼スタンドにホームラン、ファンを沸せます。しかし勢いに乗る日本は5回の裏、豊田、中尾、この日当たっている堀場と連続安打で3点、7回には豊田が米国3人目の投手、ノリスから中前安打を奮って1点、7対3と大きくリードします。7回から高橋の後を引き継いだ鹿取は米国打線を散發2安打に押える好投を見せます。最後のバッター、ジェイダーも三振に切って取り試合終了日本は6年ぶりに初戦を飾りました。